

家庭学習のしおり

桜井市立桜井南小学校

家庭と学校が協力し合って、子どもの学ぶ力を育てましょう。

本校の教育目標は「人間性豊かで、たくましい児童を育てる」教育の実践です。そのなかでも、「自ら学び自ら考え実践する子ども」の育成として、確かな学力を身に付けられるようにしていきたいと考えています。自ら学ぼうとする力は、学校だけではなく、子どもが安心できる家庭において安定した生活リズムの中で、学習を毎日積み重ねることによって育ちます。学校と家庭が協力し合って、子どもの自ら学ぶ力を育てましょう。

ここには、県教育委員会から示された家庭学習の方法を参考に「家庭学習のしおり」として提示させていただきました。このしおりを家庭での学習習慣のヒントとして、役立てていただけたら幸いです。

学校も家庭とともに連携していきたいと思っていますので、悩んでおられることなどありましたら、担任に遠慮なく相談してください。

生活リズムを整え、家庭を学びの環境に



早寝、早起き、朝ごはんなど規則正しい生活を心がけましょう。

学校では、健康観察や保健だよりをとおして、生活リズムを整えるように意識付けをしています。

家庭学習の時間を決めましょう。

- ①始める時刻を決める。
- ②学習時間を決める。

集中できる環境をつくりましょう。

- ①決まった場所でする。
- ②テレビを消す。
- ③近くにスマホ等を置かない。



温かさや厳しさ、対話のあるふれあいを

毎日ほんの少しでも、子どもと向き合う時間を見つけましょう。

◎ 親も楽しみながら

(明るいあいさつを)

家族みんなであいさつを交わしましょう。笑顔であいさつをすると心が開かれ、素直に物事をとらえることができるようになります。

(コミュニケーションを)

買い物や散歩などを一緒に楽しみ、感じたことを言葉で伝え合いましょう。親子の会話が、人と交わる力や生きる力を伸ばします。

(お手伝いをする習慣を)

家族で一緒に仕事をしたり、地域で活動したりしましょう。仕事をする人の思いや願いを学び、家族の絆と社会への関心を深めることができます。

(家族で読書を 家族で感動を)

寝る前のひとときを読み聞かせの時間に見ませんか。読書や自然体験は、豊かな感性を育みます。家族で感動を共有しましょう。



◎ ときには厳しく

話し合っただけで決めたことや約束事は、しっかり守らせましょう。親として譲れないことは、決して譲らず、毅然とした態度をとることが大切です。

◎ 子どものサインを見逃さず

子どもの小さな変化を見つけるためにも、毎日少しでも言葉をかけ、子どもと対話をしましょう。

